古文ドリル：「ば」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト〜難関私大・国公立二次まで） **著作権**：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：「ば」の正体（接続で決まる）

古文の接続助詞「ば」は、**直前の活用形（未然形か已然形か）で意味がまったく変わります**。ここを取り違えると訳が逆になり、読解で大きく失点します。

用法	接続（直前の形）	訳	例
① 順接仮定条件	**未然形**＋ば	もし〜なら（まだ起きていない仮定）	降ら**ば**
② 順接確定条件	**已然形**＋ば	〜ので／〜と（すでに・当然起こる）	降れ**ば**
③ 「をば」	格助詞「を」＋係助詞「は」	条件の意味なし（強調）	花を**ば**

②已然形＋ばは、さらに3つの訳を文脈で見分けます。

- (a) 原因・理由「〜ので」 例：花咲け**ば**春なり（花が咲くので春だ）
- (b) 偶然条件「〜と・〜したところ」 例：門を開（ひら）け**ば**人あり（門を開けると人がいた）
- (c) 恒常条件「〜と（いつも・必ず）」 例：春になれ**ば**花咲く（春になるときまって花が咲く）

識別の鉄則

1. **意味より先に「ばの直前の形」を見る**。これが最重要。
2. **未然形＋ば** → 仮定「もし〜なら」。後ろに意志・推量・打消意志（む・じ・べし等）が来やすい。
3. **已然形＋ば** → 確定「〜ので／〜と」。すでに起きた事・当然の事。
4. 四段動詞は音で判断できる：**直前がア段（行か・降ら）＝未然形／エ段（行け・降れ）＝已然形**。
5. ただし**変格活用・二段活用は形で判断**（サ変＝せ／すれ、カ変＝こ／くれ、ラ変＝あら／あれ、ナ変＝死な／死ぬれ、上一＝見／見れ、上二＝起き／起くれ、下二＝受け／受くれ）。
6. **「をば」の「ば」は別物**。格助詞「を」＋係助詞「は」が濁音化したもので、条件の意味はない。訳は無視してよい。

🎯 解き方のコツ（試験本番で3秒）

コツ① 四段動詞は「直前の母音」で即決

- **ア段＋ば**（書か・行か・思は・降ら）→ **未然形＋ば**（仮定「もし〜なら」）
- **エ段＋ば**（書け・行け・思へ・降れ）→ **已然形＋ば**（確定「〜ので／〜と」）

コツ② 変格・二段は「形」で覚える

- 「せ**ば**」（サ変未然）「こ**ば**」（カ変未然）「あら**ば**」（ラ変未然）「死な**ば**」（ナ変未然）→ **仮定**
- 「すれ**ば**」「くれ**ば**」「あれ**ば**」「死ぬれ**ば**」→ **確定**
- 二段は「起き**ば**（未然）／起くれ**ば**（已然）」「受け**ば**（未然）／受くれ**ば**（已然）」

コツ③ 已然形＋ばは「ので・と」で処理して訳を選ぶ

- 理由なら「〜ので」、たまたまの発見なら「〜と・〜したところ」、いつもの法則なら「〜と（必ず）」。

コツ④ 「をば」を見たら条件と考えない

- 「花をば」「月をば」「人をば」の「ば」は係助詞「は」。強調だけで、訳は「花を／月を／人を」と同じ。

よくある引っかけ

- 四段の已然形と命令形は同形（「行け」）。**「ば」が付くのは已然形**。
- 「ずは・くは」（打消・形容詞の未然形＋ば相当）は**仮定**「〜ないなら／〜ならば」。※「ず」「く」を連用形、「は」を係助詞とみる説も有力（諸説あり）。どちらでも訳は同じ。
- 「**せば〜まし**」「**ましかば〜まし**」は**反実仮想**（もし〜だったら…だろうに）。条件節は未然形相当。

採点表

各セクションごとに自己採点し、最後に合計を記録してください。

- 基礎（Q1〜Q20）：　／20
- 標準（Q21〜Q50）：　／30
- 応用（Q51〜Q80）：　／30
- 入試レベル（Q81〜Q100）：　／20
- 合計：　／100

【第1部】基礎編（Q1〜Q20）

四段動詞中心に、未然形＋ば（仮定）と已然形＋ば（確定）を純粋に見分ける。

Q1. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 雨降ら**ば**出でじ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「降ら」は四段「降る」未然形（ア段）。「もし雨が降ったなら、出かけまい」。後ろに打消意志「じ」が来ており仮定にふさわしい。

Q2. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 雨降れ**ば**出でず。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・原因理由） **解説**：「降れ」は四段「降る」已然形（エ段）。「雨が降るので、出かけない」。原因・理由を表す。

Q3. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 花咲か**ば**見む。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「咲か」は四段「咲く」未然形（ア段）。「もし花が咲いたなら見よう」。後ろに意志「む」。

Q4. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 花咲け**ば**春なり。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・原因理由） **解説**：「咲け」は四段「咲く」已然形（エ段）。「花が咲くので春である」。原因・理由。

Q5. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 行か**ば**告げよ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「行か」は四段「行く」未然形（ア段）。「もし行くなら告げよ」。後ろに命令「告げよ」。

Q6. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 行け**ば**人あり。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・偶然条件） **解説**：「行け」は四段「行く」已然形（エ段）。「行ったところ、人がいた」。たまたまの発見。

Q7. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 思は**ば**言へ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「思は」は四段「思ふ」未然形（ア段）。「もし思うなら言え」。後ろに命令。

Q8. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 思へ**ば**悲し。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・原因理由） **解説**：「思へ」は四段「思ふ」已然形（エ段）。「思うので悲しい」。原因・理由。

Q9. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 風吹か**ば**散りなむ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「吹か」は四段「吹く」未然形（ア段）。「もし風が吹いたなら散ってしまうだろう」。後ろに推量「なむ」。

Q10. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 風吹け**ば**散る。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・恒常条件） **解説**：「吹け」は四段「吹く」已然形（エ段）。「風が吹くと（いつも）散る」。自然の法則を表す恒常条件。

Q11. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 待た**ば**来む。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「待た」は四段「待つ」未然形（ア段）。「もし待つなら来よう」。後ろに意志「む」。

Q12. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 待て**ば**来たる。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・偶然条件） **解説**：「待て」は四段「待つ」已然形（エ段）。「待っていると（待ったところ）やって来た」。

Q13. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 聞か**ば**驚かむ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「聞か」は四段「聞く」未然形（ア段）。「もし聞いたなら驚くだろう」。後ろに推量「む」。

Q14. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 聞け**ば**あはれなり。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・原因理由） **解説**：「聞け」は四段「聞く」已然形（エ段）。「聞くのでしみじみと趣深い」。原因・理由。

Q15. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 散ら**ば**惜しからむ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「散ら」は四段「散る」未然形（ア段）。「もし散ったなら惜しいだろう」。後ろに推量「む」。

Q16. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 春来れ**ば**花咲く。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・恒常条件） **解説**：「来れ」はカ変「来」已然形。「春が来ると（いつも）花が咲く」。自然の習わしを表す恒常条件。

Q17. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 命あら**ば**また会はむ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「あら」はラ変「あり」未然形。「もし命があるなら、また会おう」。後ろに意志「む」。

Q18. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 命あれ**ば**頼もし。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・原因理由） **解説**：「あれ」はラ変「あり」已然形。「命があるので心強い」。原因・理由。

Q19. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 死な**ば**もろともに。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「死な」はナ変「死ぬ」未然形。「もし死ぬなら一緒に」。

Q20. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 日暮るれ**ば**帰る。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・恒常条件） **解説**：「暮るれ」は下二段「暮る」已然形。「日が暮れると（いつも）帰る」。習慣を表す恒常条件。

【第2部】標準編（Q21〜Q50）

已然形＋ばの3つの訳（原因理由・偶然条件・恒常条件）を文脈で訳し分ける問題を中心に。

Q21. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 雪降れ**ば**道見えず。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・原因理由） **解説**：「降れ」は四段已然形。「雪が降るので道が見えない」。理由を表す。

Q22. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 戸を開くれ**ば**月さし入る。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・偶然条件） **解説**：「開くれ」は下二段「開く」已然形。「戸を開けると月の光がさし込んだ」。たまたまの発見。

Q23. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 秋来れ**ば**虫鳴く。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・恒常条件） **解説**：「来れ」はカ変已然形。「秋が来ると（いつも）虫が鳴く」。自然の習わし。

Q24. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 病重けれ**ば**起きも上がらず。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・原因理由） **解説**：「重けれ」は形容詞「重し」已然形。「病が重いので起き上がることもできない」。理由。

Q25. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 山路を行け**ば**滝あり。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・偶然条件） **解説**：「行け」は四段已然形。「山道を行くと滝があった」。進んだところ偶然見つけた発見。

Q26. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 月いづれ**ば**影さやけし。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・恒常条件） **解説**：「いづれ」は下二段「出づ」已然形。「月が出ると（いつも）光が澄んで明るい」。一般的事実。

Q27. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 風冷たけれ**ば**袖寒し。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・原因理由） **解説**：「冷たけれ」は形容詞「冷たし」已然形。「風が冷たいので袖が寒い」。理由。

Q28. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 門に立てれ**ば**人出で来。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・偶然条件） **解説**：「立てれ」は四段「立つ」已然形＋完了「り」已然形。「門に立っていると人が出てきた」。発見。

Q29. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 年暮るれ**ば**雪降る。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・恒常条件） **解説**：「暮るれ」は下二段已然形。「年が暮れると（いつも）雪が降る」。季節の習わし。

Q30. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 涙落つれ**ば**文字も見えず。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・原因理由） **解説**：「落つれ」は上二段「落つ」已然形。「涙が落ちるので文字も見えない」。理由。

Q31. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 春になら**ば**訪ね来む。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「なら」は四段「なる」未然形。「もし春になったなら訪ねて来よう」。後ろに意志「む」。

Q32. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 春になれ**ば**花咲く。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・恒常条件） **解説**：「なれ」は四段「なる」已然形。「春になると（きまって）花が咲く」。恒常条件。

Q33. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 雨やま**ば**帰らむ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「やま」は四段「やむ」未然形。「もし雨がやんだなら帰ろう」。後ろに意志「む」。

Q34. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 雨やめ**ば**出でぬ。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・原因理由） **解説**：「やめ」は四段「やむ」已然形。「雨がやんだので出かけた」。原因・理由。「ぬ」は完了。

Q35. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 君来**ば**待たむ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「来（こ）」はカ変「来」未然形。「もしあなたが来るなら待とう」。後ろに意志「む」。カ変未然形は「こ」。

Q36. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 君来れ**ば**うれし。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・原因理由） **解説**：「来れ」はカ変已然形。「あなたが来るのでうれしい」。理由。カ変已然形は「くれ」。

Q37. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 文見**ば**返事せむ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「見」は上一段「見る」未然形。「もし手紙を見たなら返事をしよう」。上一段未然形は「見」。後ろに意志「む」。

Q38. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 文見れ**ば**涙落つ。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・偶然条件） **解説**：「見れ」は上一段「見る」已然形。「手紙を見ると涙が落ちた」。見たところで起こった発見的な流れ。

Q39. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 雨降ら**ば**いかにせむ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「降ら」は四段未然形。「もし雨が降ったならどうしようか」。後ろに意志・推量「せむ」。

Q40. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 鐘鳴れ**ば**人集まる。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・恒常条件） **解説**：「鳴れ」は四段「鳴る」已然形。「鐘が鳴ると（いつも）人が集まる」。習慣的事実。

Q41. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 灯火近づくれ**ば**虫寄る。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・恒常条件） **解説**：「近づくれ」は下二段「近づく」（＝近づける）已然形。「灯火を近づけると（いつも）虫が寄る」。一般的事実。※四段の「近づく」（＝近寄る）なら已然形は「近づけ」。

Q42. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 命長から**ば**恥多し。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「長から」は形容詞「長し」未然形（カリ活用「長から」）。「もし命が長いならば恥も多い」。※徒然草（第七段）の原文は「命長ければ辱多し」で、こちらは已然形＋ばの恒常条件（長生きをすると恥をかくことが多い）。本問はそれを未然形にかえた仮定の形。

Q43. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 日高くなれ**ば**暑し。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・原因理由） **解説**：「なれ」は四段「なる」已然形。「日が高くなったので暑い」。理由。

Q44. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 人問は**ば**何と答へむ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「問は」は四段「問ふ」未然形。「もし人が尋ねたなら何と答えよう」。後ろに意志・推量「む」。

Q45. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 人問へ**ば**ありのままに語る。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・恒常条件） **解説**：「問へ」は四段「問ふ」已然形。「人が尋ねると（いつも）ありのままに語る」。習慣。

Q46. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 川を渡れ**ば**里に出づ。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・偶然条件） **解説**：「渡れ」は四段「渡る」已然形。「川を渡ると里に出た」。渡ったところで出た発見。

Q47. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 心あら**ば**問へかし。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「あら」はラ変「あり」未然形。「もし思いやりの心があるなら尋ねてほしい」。後ろに願望・命令「問へかし」。

Q48. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 思ひ出づれ**ば**今も悲し。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・原因理由） **解説**：「出づれ」は下二段「出づ」已然形（思ひ出づ）。「思い出すので今も悲しい」。理由。

Q49. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 雨降ら**ば**降れ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「降ら」は四段未然形。「もし降るなら降れ（降るなら降ればよい）」。後ろの「降れ」は命令形で放任を表す。前の「降らば」は仮定。

Q50. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 時来れ**ば**花おのづから開く。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・恒常条件） **解説**：「来れ」はカ変已然形。「時が来ると（自然と）花が開く」。自然の道理を表す恒常条件。

【第3部】応用編（Q51〜Q80）

変格・二段活用の見分け、「ずは・くは」、「をば」、紛らわしい識別を実戦的に。

Q51. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 花を**ば**惜しむ。

答え：「をば」の「ば」＝係助詞「は」（接続助詞「ば」ではない） **解説**：「をば」は格助詞「を」＋係助詞「は」が濁音化した形。条件の意味はなく、強調するだけ。「花を（とりわけ）惜しむ」。訳は「花を惜しむ」と同じ。

Q52. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 月を**ば**見ず。

答え：「をば」の「ば」＝係助詞「は」（接続助詞「ば」ではない） **解説**：「をば」は格助詞「を」＋係助詞「は」。「月を（は）見ない」。条件ではなく強調。

Q53. 次の傍線部「は」を識別せよ。

> 雨降らず**は**出でむ。

答え：未然形（打消「ず」）＋ば相当（順接仮定条件） **解説**：「ずは」は打消「ず」の未然形に接続する仮定で「もし〜ないなら」。「もし雨が降らないなら出かけよう」。「ずは」は清音でも仮定を表す。※「ず」を連用形、「は」を係助詞とみる説も有力（諸説あり）。訳はどちらでも同じ。

Q54. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 名を惜しま**ば**退くな。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「惜しま」は四段「惜しむ」未然形。「もし名誉を惜しむなら退くな」。後ろに禁止「な」。

Q55. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> すれ**ば**かなふ。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・恒常条件） **解説**：「すれ」はサ変「す」已然形。「（そう）すると（いつも）かなう」。サ変已然形は「すれ」。

Q56. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> せ**ば**いかならむ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「せ」はサ変「す」未然形。「もし（そう）したならどうなるだろう」。サ変未然形は「せ」。後ろに推量「む」。

Q57. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 起き**ば**告げよ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「起き」は上二段「起く」未然形。「もし起きたなら告げよ」。上二段未然形はi段「起き」。後ろに命令。

Q58. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 起くれ**ば**夜明けたり。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・偶然条件） **解説**：「起くれ」は上二段「起く」已然形。「起きると夜が明けていた」。起きたところでの発見。

Q59. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 受け**ば**返さむ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「受け」は下二段「受く」未然形（e段）。「もし受け取るなら返そう」。後ろに意志「む」。

Q60. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 受くれ**ば**喜ぶ。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・恒常条件） **解説**：「受くれ」は下二段「受く」已然形。「受け取ると（いつも）喜ぶ」。習慣。

Q61. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 死な**ば**死ね。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「死な」はナ変「死ぬ」未然形。「もし死ぬなら死ね（死ぬならそれでよい）」。後ろの「死ね」は命令形で放任。

Q62. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 死ぬれ**ば**皆悲しむ。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・恒常条件） **解説**：「死ぬれ」はナ変「死ぬ」已然形。「死ぬと（だれもが）皆悲しむ」。一般的事実。

Q63. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 来（こ）**ば**いかに。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「来（こ）」はカ変未然形。「もし来たならどうしよう」。カ変未然形は「こ」。

Q64. 次の傍線部「は」を識別せよ。

> 急がず**は**日暮れぬべし。

答え：未然形（打消「ず」）＋ば相当（順接仮定条件） **解説**：「ずは」は打消の未然形に付く仮定で「もし〜ないなら」。「もし急がないなら、日が暮れてしまうにちがいない」。後ろに推量「べし」。※「見ずはあらじ」のような「〜ずはあらじ」は「〜しないではいないだろう（きっと〜する）」の意で、仮定ではないので注意。

Q65. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 数多けれ**ば**選びがたし。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・原因理由） **解説**：「多けれ」は形容詞「多し」已然形。「数が多いので選びにくい」。原因・理由。※カリ活用の「多かれ」はふつう命令形なので、已然形は「多けれ」。

Q66. 次の傍線部「は」を識別せよ。

> 心づきなく**は**帰らむ。

答え：未然形相当（形容詞「く」）＋ば相当（順接仮定条件） **解説**：「くは」は、形容詞の「く」（未然形相当）に「は」が付いた形で、仮定「もし〜ならば」を表す。「もし気にくわないようなら、帰ろう」。後ろに意志「む」。「くは」は清音でも仮定。※「く」を連用形、「は」を係助詞とみる説も有力（諸説あり）。訳はどちらでも同じ。

Q67. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 風吹け**ば**波立つ。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・恒常条件） **解説**：「吹け」は四段已然形。「風が吹くと（いつも）波が立つ」。自然の法則。

Q68. 次の傍線部「は」を識別せよ。

> 露しげく**は**袖濡れむ。

答え：未然形相当（形容詞「く」）＋ば相当（順接仮定条件） **解説**：「しげくは」は形容詞「しげし」の「しげく」（未然形相当）＋仮定の「は」。「もし露が多いようなら袖が濡れるだろう」。後ろに推量「む」。※「く」を連用形、「は」を係助詞とみる説も有力（諸説あり）。訳はどちらでも同じ。

Q69. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 我あら**ば**守らむ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「あら」はラ変「あり」未然形。「もし私がいるなら守ろう」。後ろに意志「む」。

Q70. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 我あれ**ば**安し。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・原因理由） **解説**：「あれ」はラ変「あり」已然形。「私がいるので安心だ」。理由。

Q71. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 蹴**ば**痛からむ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「蹴」は下一段「蹴る」未然形。「もし蹴ったなら痛いだろう」。下一段未然形は「蹴」。後ろに推量「む」。

Q72. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 蹴れ**ば**転ぶ。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・恒常条件） **解説**：「蹴れ」は下一段「蹴る」已然形。「蹴ると（いつも）転ぶ」。一般的事実。

Q73. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 我を**ば**頼め。

答え：「をば」の「ば」＝係助詞「は」（接続助詞「ば」ではない） **解説**：「をば」は格助詞「を」＋係助詞「は」。「私を（こそ）頼りにせよ」。条件ではなく強調。

Q74. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 鳥鳴け**ば**夜明く。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・恒常条件） **解説**：「鳴け」は四段「鳴く」已然形。「鳥が鳴くと（きまって）夜が明ける」。自然の習わし。

Q75. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 行か**ば**行け。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「行か」は四段未然形。「行くなら行け（行きたいなら行けばよい）」。後ろの「行け」は命令形で放任。前の「行かば」が仮定。

Q76. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 涙の川渡れ**ば**袖濡る。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・偶然条件） **解説**：「渡れ」は四段「渡る」已然形。「（涙の）川を渡ると袖が濡れる」。渡ったところでの結果。

Q77. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 世の中を厭は**ば**山に入れ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「厭は」は四段「厭ふ」未然形。「もし世の中を嫌うなら山に入れ」。後ろに命令。

Q78. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 世を厭へ**ば**心安し。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・原因理由） **解説**：「厭へ」は四段「厭ふ」已然形。「世を嫌う（出家する）ので心が安らかだ」。理由。

Q79. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 言は**ば**言へ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「言は」は四段「言ふ」未然形。「言うなら言え（言いたいなら言えばよい）」。後ろの「言へ」は命令形で放任。前の「言はば」が仮定。

Q80. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 雪消ゆれ**ば**草青む。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・恒常条件） **解説**：「消ゆれ」は下二段「消ゆ」已然形。「雪が消えると（きまって）草が青々とする」。季節の道理。

【第4部】入試レベル（Q81〜Q100）

反実仮想（せば〜まし）、有名出典、係り結びとの複合など実戦レベルで総仕上げ。

Q81. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 世の中にたえて桜のなかりせ**ば**春の心はのどけからまし。（古今集・在原業平）

答え：未然形＋ば（順接仮定条件＝反実仮想） **解説**：「せ」は過去「き」の未然形。「せば〜まし」で反実仮想「もし〜だったら…だろうに」。「もし世の中に全く桜がなかったなら、春の心はのどかだろうに」。実際は桜があるので心が落ち着かない、という反実。

Q82. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 鏡に色・形あら**ば**映らじを。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「あら」はラ変「あり」未然形。「もし鏡に色や形があったなら映るまいに」。仮定。後ろに打消推量「じ」。

Q83. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 花の散るを**ば**惜しむ。

答え：「をば」の「ば」＝係助詞「は」（接続助詞「ば」ではない） **解説**：「散るを＋ば」は準体法「散るの（散ること）を」＋係助詞「は」が濁音化した形。「花が散るのを（とりわけ）惜しむ」。条件の「ば」ではない。

Q84. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 心あら**ば**ぬしに告げてよ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「あら」はラ変未然形。「もし思いやりの心があるなら主人に告げてくれ」。後ろに願望・命令。

Q85. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 名にし負は**ば**いざ言問はむ。（伊勢物語）

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「負は」は四段「負ふ」未然形。「（都鳥という）名を持っているなら、さあ尋ねよう」。仮定。後ろに意志「む」。

Q86. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 月見れ**ば**ちぢにものこそ悲しけれ。（古今集・大江千里）

答え：已然形＋ば（順接確定条件・原因理由） **解説**：「見れ」は上一段「見る」已然形。「月を見るとさまざまに物悲しい」。理由・きっかけ。結びは係助詞「こそ」を受けて已然形「悲しけれ」。

Q87. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 散ら**ば**散れ風な吹きそ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「散ら」は四段未然形。「散るなら散れ（が）、風よ吹くな」。「散らば散れ」は仮定＋放任の命令。後ろの「な吹きそ」は禁止。

Q88. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 立ち別れいなばの山の峰に生ふるまつとし聞か**ば**今帰り来む。（古今集・在原行平）

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「聞か」は四段「聞く」未然形。「（あなたが私を）待つと聞いたなら、すぐに帰って来よう」。仮定。後ろに意志「む」。「まつ」は「松」と「待つ」の掛詞。

Q89. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 思ひつつ寝れ**ば**や人の見えつらむ。（古今集・小野小町）

答え：已然形＋ば（順接確定条件・原因理由） **解説**：「寝れ」は下二段「寝（ぬ）」已然形。「（恋しく）思いながら寝たので、あの人が（夢に）見えたのだろうか」。理由。「や」は係助詞で疑問、結びは「らむ」。

Q90. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> いざ給へ。雨降らぬさきに帰ら**ば**や。

答え：終助詞「ばや」の一部（接続助詞「ば」ではない） **解説**：「帰らばや」の「ばや」は未然形接続の願望の終助詞で「〜たい」。「帰ら」は四段未然形。「雨が降らないうちに帰りたい」。仮定の「ば」と違い、後ろに「や」が付いて自己願望を表す。直前が未然形である点は共通なので注意。

Q91. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 命あれ**ば**こそ、かかる世にも会へ。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・原因理由） **解説**：「あれ」はラ変已然形。「命があるからこそ、このような世にも巡り会える」。「ばこそ」で理由を強調。

Q92. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 我死な**ば**焼くな埋むな。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「死な」はナ変未然形。「もし私が死んだなら、焼くな埋めるな」。仮定。後ろに禁止「な〜そ」相当の命令。

Q93. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 雨の降れ**ば**、え出で立たず。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・原因理由） **解説**：「降れ」は四段已然形。「雨が降るので、出発できない」。理由。「え〜ず」は不可能。

Q94. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> あら**ば**あれ、なくてもありなむ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「あら」はラ変未然形。「あるならあれ（あってもよい）、なくても済むだろう」。「あらばあれ」は仮定＋放任。

Q95. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 玉なれ**ば**こそ光れ。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・原因理由） **解説**：「なれ」は断定「なり」已然形。「玉であるからこそ光る」。「ばこそ」で理由を強調。断定「なり」の已然形「なれ」に接続。

Q96. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 我にもし羽あら**ば**飛びて行かまし。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件＝反実仮想） **解説**：「あら」はラ変未然形。「もし私に羽があったなら飛んで行くだろうに」。「ば〜まし」で反実仮想。実際は羽がないので行けない。

Q97. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 鶏鳴け**ば**東白む。

答え：已然形＋ば（順接確定条件・恒常条件） **解説**：「鳴け」は四段已然形。「鶏が鳴くと（きまって）東の空が白む」。自然の道理。

Q98. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 心にもあらで憂き世にながらへ**ば**恋しかるべき夜半の月かな。（後拾遺集・三条院）

答え：未然形＋ば（順接仮定条件） **解説**：「ながらへ」は下二段「ながらふ」未然形。「もし不本意ながらこのつらい世に生き長らえたなら、恋しく思い出されるにちがいない、今宵の月であるよ」。仮定。後ろに当然「べき」。

Q99. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 山里は冬ぞさびしさまさりける人目も草もかれぬと思へ**ば**。（古今集・源宗于）

答え：已然形＋ば（順接確定条件・原因理由） **解説**：「思へ」は四段「思ふ」已然形。「人の訪れも草も枯れてしまうと思うので（いっそう寂しい）」。理由。「かれ」は「離れ」と「枯れ」の掛詞。

Q100. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 逢坂の関を越え**ば**告げむ。

答え：未然形＋ば（順接仮定条件）　**解説**：「越え」は下二段「越ゆ」未然形。「もし逢坂の関を越えたなら告げよう」。仮定。後ろに意志「む」。下二段未然形はe段「越え」。

採点振り返り

おつかれさまでした。間違えた問題は、「ば」の直前の活用形をもう一度確認しましょう。

- **未然形＋ば**…仮定「もし〜なら」。四段はア段（降ら・行か）、変格はせ／こ／あら／死な、二段はi段・e段（起き・受け・越え）、上一は見、下一は蹴。後ろに意志・推量・命令・打消意志が来やすい。
- **已然形＋ば**…確定「〜ので／〜と」。四段はエ段（降れ・行け）、変格はすれ／くれ／あれ／死ぬれ、二段は〜くれ／〜ゆれ。①原因理由「ので」②偶然「〜と・〜したところ」③恒常「〜と（いつも）」を文脈で訳し分ける。
- **「をば」**…格助詞「を」＋係助詞「は」。条件ではなく強調。訳は無視してよい。
- **「ずは・くは」**…未然形相当に付く仮定「もし〜ないなら／〜ようなら」。
- **「せば〜まし」「ば〜まし」**…反実仮想「もし〜だったら…だろうに」。

「ば」を見たら、意味より先に**直前の形**。この習慣が入試本番の安定した得点につながります。

この問題集は無料です。古文の他の識別（「に」「なり」「の」など）のドリルや、文法解説とあわせてご活用ください。
誰でも古典塾（https://kotennosennsei.com）　／ 個別指導塾フィット・中本裕太

© 個別指導塾フィット / 中本裕太　https://kotennosennsei.com